



6年生ありがとう集会

3月になり、学校では、卒業式に向けての準備や各学年のイベントが毎日のようにあり、個人的にも校長会、市や地域の会合のまとめの会議が目白押しで、忙しくも有意義な毎日を過ごしております。

3月4日（月）には、5年生の企画・運営による『6年生ありがとう集会』が行われました。目当ては、「お世話になった6年生の卒業を祝い、感謝の気持ちを伝える（在校生）」「6年生がつくり上げたよい伝統を受け継ぎ、さらによりよい福野小学校にしようとする自覚をもつ（在校生）」「福野小学校への所属感を高め、福野小学校を愛する気持ちを深める（全校）」でした。

集会は、6年生の入場、はじめの言葉に引き続き、各学年の出し物の順で進みました。トップバッターは1年生でした。1年生は4月から6年生にお世話になったことを劇に表しました。大きな声で元気いっばいの劇でした。ダンスも可愛らしかったです。4年生は『進化じゃんけん』という全校児童を巻き込んだゲームでした。初めて見るゲームでしたが大変盛り上がりました。



担任が一つ一つ指示をしなくても、4年生の子供たちが自主的に動いている姿に「4月からは高学年だ」という自覚が感じられました。3年生は『パフ』の合奏でした。リコーダーのきれいな音色が印象的でした。ドリルマーチのような動きも素敵でした。（6年担任のお面がユーモラスに揺れていました。）2年生は『ありがとうの花』の歌と花束のプレゼント渡しでした。大変可愛らしい歌声でした。プレゼントした花束は6年生が大事にしてくれるといいですね。5年生は、6年生の入学から今までをクイズを交えてスライドで紹介しました。6年生が自分たちの小さいときのことを思い出し喜んでいました。最後に、6年生が感謝の気持ちを込めて、『この星に生まれて』の合唱を披露してくれました。3学期だけで、いろんな曲を聴かせてもらう機会がありましたが、本当にきれいな歌声です。2年生の可愛い歌声と6年生のきれいな歌声を同じ時間に聴いて、小学校の6年間で子供たちが大きく成長していくことを改めて実感しました。卒業式では、また別の曲を聴かせてくれるようです。楽しみにしたいと思います。

本当によい集会でした。在校生の卒業を祝う気持ちが6年生にしっかりと届いたことでしょう。また、6年生も卒業に向けて一段階気持ちが高まったことでしょう。集

会が終わり、各学年が退場した後、片付けのために残った5年生に話をする機会をつくってもらいました。5年生の子供たちには、次の2つのことを伝えました。1つは「集会を企画・運営してくれたことに対する感謝」です。一人一人が役割をもち、下学年に集会の目当てやしてほしいことを伝えに行ったり、会場の環境を作るためにいろんなものを準備したりしてくれました。大変だったと思います。もう1つは「最高学年の役割を引き継ぐ」ということについてです。2月27日(火)の「バトンタッチ集会」で5年生は6年生から最高学年の役割を引き継ぎました。今の6年生は、例えば、校舎内外の環境整備(草むしりや清掃)、挨拶運動等、朝活動を本当によくやってくれました。5年生がそれをどのように捉えたかは分かりませんが、「6年生と同じことを自分たちもやらなければいけない」と思っているなら、それは違うと思います。引き継いだことは、「最高学年として福野小学校をよりよくしていく」ということ。そのためにどうするかは、今の6年生がしつこいほどやっていたように、学年で話し合っただけで自分たちで決めなければいけません。「朝活動をするのか?しないのか?」「しないとしたら、最高学年として何ができるのか?」「やっぱり6年生のように朝活動をしたいと思うならやればよい」…。そんな話をしてきました。

能登半島地震から2ヶ月

3月11日は、東日本大震災が起こった日。学校では、弔意を表すため、半旗を掲げ、亡くなられた方へのご冥福をお祈りしました。能登半島地震からも2ヶ月が経ち、被災された地域の校長先生の話聞く機会も増えてきました。「学校が避難所になり、仕方がないことだと分かっているけど、子供たちの教室に土足で入ってこられるのを見ると心が痛んだ」「学校が避難所になっても、市から誰も助けに来ない。ようやく来てくれた市の職員は若くマニュアル等も何も分かっていない。しかし、しばらくして分かったが、その職員も被災し、住む家も無いところに駆けつけてくれた。そう思うと何も言えなかった。とにかく“行政が、行政が!”と言われるが、緊急時には関係ない。集まった者で、できることをするしかない」…。いろんな話を聞くごとに、「逆境に負けず、自ら考え判断し行動する前向きな人」でいることを改めて大切に思いました。

さて、2月16日(金)の学習参観日の折には、能登半島地震被災者への募金にご協力いただき、ありがとうございました。これはユネスコ協会から南砺市内の各学校に協力依頼があったことから、ユネスコスクールに加盟している本校としては、ぜひ協力したいと考えて行ったものでした。急なお願いではありましたが、当日だけで34,691円のお金が集まりました。昨日、3月12日(火)には、南砺ユネスコ協会の武田慎一会長にご来校いただき、児童会ボランティア委員会の代表者から集まったお金を手渡しました。被災された地域の人たちに有効に使っていただきたいと思います。



(校長 曲 師 政 隆)